

1～4号機滞留水浄化設備の設置について

2017年10月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

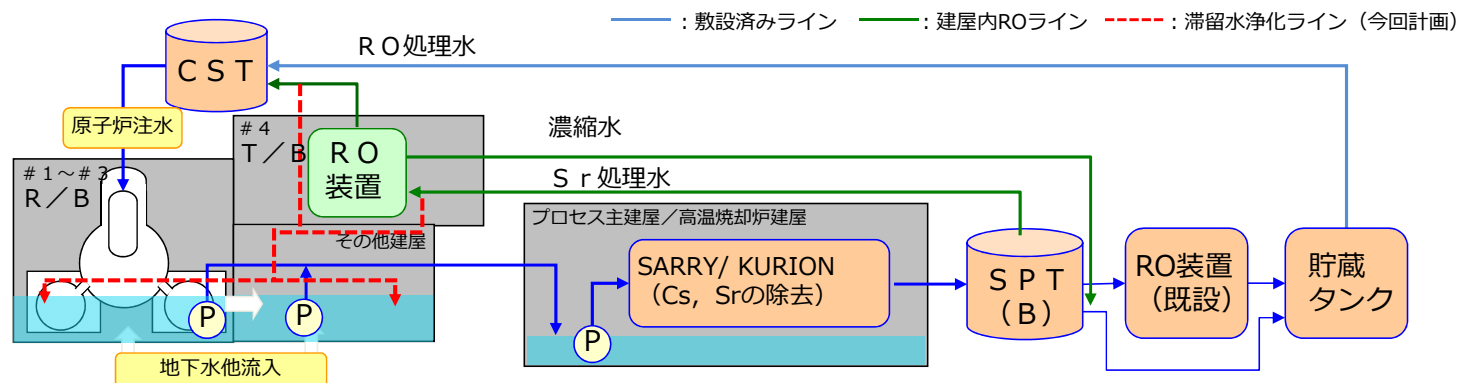
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 1～4号機滞留水浄化設備の設置目的

TEPCO

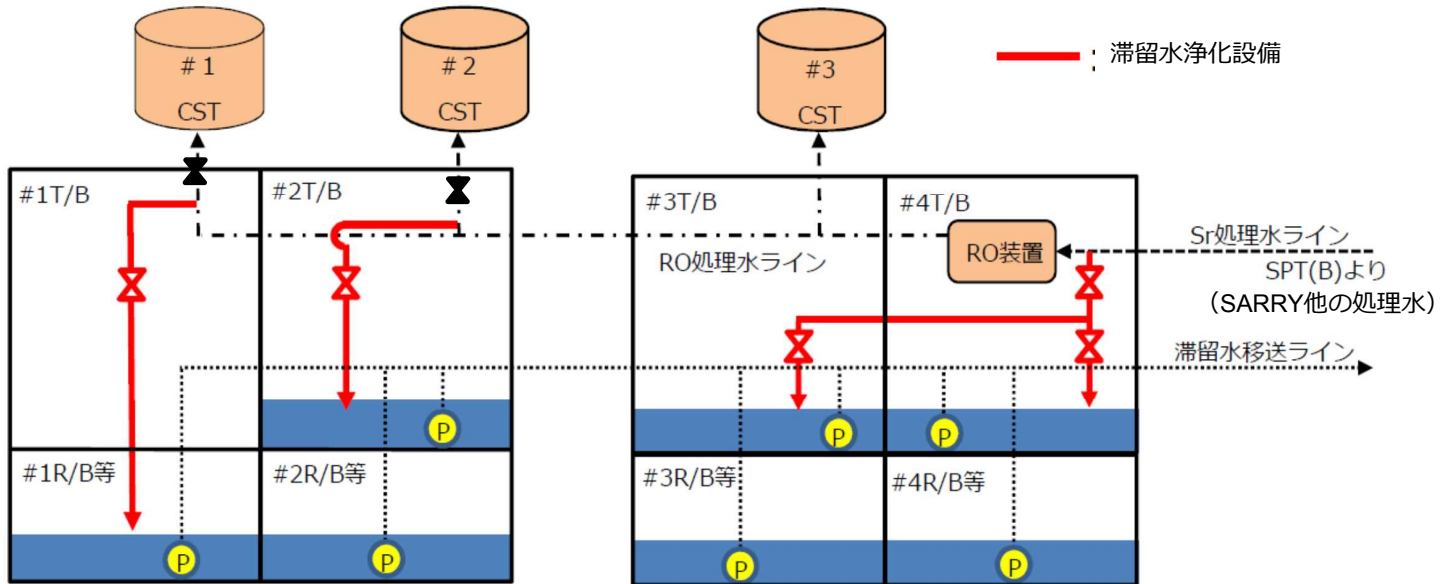
- 建屋内滞留水については、以下の取り組みを通じて汚染水貯留リスク（アウトリークリスク）を低減させつつ、2020年までの処理完了を目指している。
 - ✓ 建屋内滞留水の貯蔵量低減
地下水位と水位差を確保し地下水流入量を抑制しながら、建屋内滞留水の水位を低下。
 - ✓ 滞留水中の放射性物質の濃度低減
処理装置（SARRY他）による原子炉注水を用いた循環浄化や地下水等の流入による濃度低減。
- 上記により建屋滞留水中の放射能濃度は低下してきているが、原子炉注水量と地下水流入量が減少していることもあり、徐々に濃度低下が鈍化している。
- このため、**滞留水中の放射能濃度をさらに低減させることを目的に、処理装置の処理水の余剰分を直接建屋に注水するライン（滞留水浄化設備）を設置し、循環浄化量を増加させる。**



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

- 滞留水浄化設備は、建屋内ROのSr処理水移送ラインから分岐し3,4号機のタービン建屋（T/B）へ、またRO処理水ラインから分岐し1号機原子炉建屋（R/B）および2号機T/Bへ、それぞれSARRY他の処理水を直接注水できる設備構成とする。



3. スケジュール（予定）

- 現在、3・4号側の設備を設置工事中であり、11月には工事完了の見込み。今後、必要な検査等を受検後、インサービスする予定。
- 引き続き1・2号側の設置工事を実施する。

	2017年						2018年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3・4号機 滞留水浄化設備	ライン敷設・耐圧				使用前検査	※	インサービス		
1・2号機 滞留水浄化設備					ライン敷設・耐圧		使用前検査	※	インサービス

※使用前検査及びインサービスの時期については、実施計画変更認可後に調整予定